

自立活動だより



選択研修会 「ICT 研修～児童生徒用 iPad の活用について～」 (2022.1.24)

教育情報部の先生方をお迎えして、児童生徒用の iPad のアプリの活用方法や、基本的な操作方法について講義をしていただきました。児童生徒用の iPad には、使いやすいアプリがいくつもインストールされています。実技を交えて、分かりやすくいろいろなアプリを紹介していただきました。また、iPad 使用時間の制限方法や、アクセスガイドの使い方を、実際に操作をしながら研修をしました。今後の実践に、生かしていきたいと思えます。

こんなアプリが紹介されました

 <p>「family apps」 ゲーム感覚の仕事体験で、社会について学べます。</p>	 <p>「かみなしばい」 読み手と聞き手に分かれて紙芝居を楽しめます。</p>
 <p>「にほんご」 平仮名の読み書きが遊びながら学習できます。</p>	 <p>「カウントダウン」 時間を視覚化する使いやすいタイマーアプリ。</p>



本校の実践紹介

卒業後の進路先は、一般企業への就労から生活介護まで様々です。自立活動では、学習や生活の基盤となる部分であり、将来の生活も見据えて取り組んでいます。ここでは、本校の実践の一部を紹介します。

実践1 「好印象」な行動を身に付けよう



社会人になったら、外見や立ち振る舞い行動に気を付けたいものです。好印象な表情や立ち振る舞いを身に付けることを目指します。

ICT機器の利用で客観的な自分を知る

- 自分の姿勢を録画して、よい姿勢かどうかを確認する。
- 声の大きさを計るアプリケーションを使用して、適切な声の大きさを知る。



話し合いや場面学習で理解する

- 好印象な行動や身振りについて子ども同士の話合いや場面を設定して理解する。
- ソーシャルスキルトレーニングのワークシート(※参考書籍参考)を利用してまとめ、その後話し合う。
例「空気が読める人になろう」「上手な伝え方」など。



実践2 こんなときはどうしたらいいかな

困ったとき、どうしたらよいか、状況の理解や登場人物の気持ちを考え、どうしたらよいかを考えます。



イラストや文章、動作化で考える

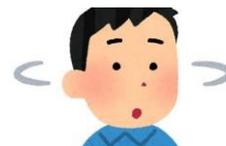
授業中にお腹が痛くなった。



遅刻しそうである。



迷子になった。



実践3 暗黙のルールってなあに



暗黙のルールとは、直接教わっていないのに、当然知っていることとされている社会や人との関わり方のルールや目安のことです。集団参加の手順や決まりを知っておくことでスムーズに参加できますね。

暗黙のルールを知り、場面学習やカードゲームなどで体験する。

相手の気持ちや場面に合わせて言葉をかける。

ふわふわ
言葉

ちくちく言葉

くしゃみをするときは・・・



実践4 手順どおりに行動しよう

指示や手順通りに行うことも身に付けるとよいかです。

旗揚げゲーム

ワイヤレスヘッドフォンを使い、指示を聞きながら活動します。指示はあらかじめ録音しておき、Bluetoothでワイヤレスヘッドフォンにつないでいます。指示音声を聞いて赤白の旗を上下します。



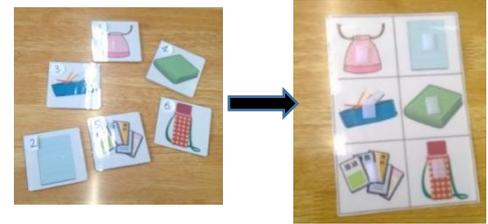
ブロックの組み立て

写真の手順書を使ってブロックを組み立てていきます。手順書も一枚に全工程が掲載されているものもあれば、一つずつめくっていくものもあります。



持ち物の確認

指示された持ち物のカードを探して、台紙に貼ります。できたら報告し、手提げ袋に持ち物を入れて持ってきて、教師と一緒に確認をします。



参考書籍の紹介

「あたまと心で考えよう SSTワークシート」

LD発達相談センターかながわ 編著 かもかわ出版

自己認知・コミュニケーションスキル編

社会的行動編

思春期編



「発達障害の子をサポートする
ソーシャルスキルトレーニング
事例集」

腰川一恵 山口麻由美 監修
池田書店



「学びと育ちのサポートワーク
5 ソーシャルスキル柔軟性
アップ」編

加藤博之 著
明治図書



「発達と障害がある子のための暗黙のルール マナーと決まりがわかる本」

ブレンダ・スミス・マイルズ メリッサ・L・トラウトマン ロンダ・L・シェルヴァン 著

萩原 拓 監修 西川美樹 訳
明石書店